

# きずな

## 小牧市民病院の理念

- 1 安全で質の高い急性期医療を行います
- 2 恕の心で患者さんに寄り添う病院を目指します
- 3 医療を通じて、安心して暮らせる地域の実現に貢献します

発行者 / 小牧市常普請一丁目20番地 小牧市民病院 院長 谷口健次 TEL(0568)76-4131  
<http://www.komakihp.gr.jp/>

## 通院支援アプリ「コンシェルジュ」を導入します

### ① らくらく会計

クレジットカードの事前登録をすれば、会計の待ち時間なしでスムーズに帰宅できます！



診察後はスムーズに帰宅！

お支払い履歴はスマートフォンで確認！

紙幣にノータッチで感染リスクを低減！

### ② 予約を確認

アプリからいつでも予約を確認



便利  
な  
3つの  
ポイント

### ③ 診察状況をお知らせ

どこでも診察状況を確認できます。  
 順番が近づいたら通知が届くので、待ち時間を自由に過ごせます！



キミと一緒に、育っていきなさい。  
**Komaki**

- ニュース ● ガンゲノム医療について
- 特集 ● スマホ用通院支援アプリ「コンシェルジュ」について
- 健康教室 ● 「コロナ疲れ」の対処法
- 各科だより ● 臨床工学科
- 職場紹介 ● 洗濯委託事業者
- 意見箱から ● バス停について
- お知らせ ● 市民病院案内図 外来案内など

# がんゲノム医療について

当院は2020年1月に**がんゲノム医療連携病院**に指定されました。がんゲノム医療中核拠点病院である名古屋大学医学部附属病院と連携しながら、保険診療で行う**「がん遺伝子パネル検査」**を実施する体制を整えています。

## がんはいついかにわかるのか？

私たちの身体は数十兆個の細胞でできています。細胞の中には遺伝子が含まれており、生命維持に必要なたんぱく質を作り出したり、顔立ちや性格好、お酒に強いかなどの特徴を決めています。『がん細胞』は体の中で無秩序に増殖したり、あちこちに転移する特徴を持っていますが、その多くは遺伝子の突然変異によって発生することが知られています。また、がんは罹りやすい体質と関連する遺伝子もいくつかわかっています。

## がんゲノム医療とは

『ゲノム』とは遺伝子をはじめとする遺伝情報の全体を意味する言葉です。近年、患者さんのがん細胞の遺伝子変異を調べることで、特定のがんの診断や治療薬の選択が

できるようになっており、これを『がんゲノム医療』と呼んでいます。乳がんや肺がんなど一部のがんでは、患者さんのがんの組織や血液を用いて1〜数個の遺伝子検査を行い、治療薬の決定に役立てています。さらに最近では、遺伝子解析技術の進歩により、がんの発生や増殖に関係する100種類以上の遺伝子を一度に調べることができるようになりました。

## どんな人が「がん遺伝子パネル検査」を受けられますか

薬物療法が適応となるがん患者さんのうち、診療ガイドライン等で推奨される標準的な治療薬が無効となった方や、珍しいタイプのがんで標準治療がない方が対象となります。また、全身状態や臓器の機能が良好で、担当医が薬物療法を継続できると判断していることも、検査を行うための要件となります。

## 検査のメリットと注意点

検査結果をもとに、保険診療で使用できる治療薬の他、がんセンターや大学病院で

行われている治験や臨床研究など、新しい治療をご案内できる可能性があります。ただし、現在のところ、その確率は検査を受けた方の10%程度と言われており、新規薬剤や治療法の開発が期待されます。

また、検査を受けた方の3〜5%程度で遺伝性腫瘍（生まれつきがんに罹りやすい体質）に関係する遺伝子変異が見つかることがあります。そのため、もしこれらの結果が出た場合に、ご本人や血縁者の方への開示を希望されるかどうかを、あらかじめよく話し合ってから検査に臨んでいただく必要があります。

## 最後に

当院では、2021年4月に外来化学療法センターとがんゲノムセンターを所管するがん診療センターを設置しました。今後がん薬物療法の一層の充実を図るための取り組みを進めてまいります。遺伝子パネル検査に関するご相談は、担当医もしくはがん相談支援センター（2階総合受付隣）でお尋ねください。

# スマホ用通院支援アプリ「コンシェルジュ」について

医事課長 藤村厚誌

当院では、新病院開院以来の課題である、「会計の待ち時間」「外来待合いの混雑」を解消するため、9月1日より、スマホ用通院支援アプリ「コンシェルジュ」(以下「コンシェルジュ」)を導入しました。多くの皆様にご利用いただくため、特に便利な3つの機能をご紹介します。

## 後払いでスムーズに帰宅

当院では、診察や検査の終了後、計算窓口へ受付票を出していただいでから請求書を作成するため、お支払いまで約20分ほど時間がかかっています。

「会計の待ち時間が長い」というご意見をたくさんいただいたおり、新病棟開院以降の課題となりました。

「コンシェルジュ」の「後払い会計」機能を利用することで、受付票を計算窓口に出すだけで、お支払いを待つことなくそのまま帰宅していただけるようになります。

## 予約の確認

診察や検査の予約内容をいつでも確認す

ることができるので、万が一、受診日を忘れてしまった場合でも、病院へ問い合わせをする必要がありません。

また、診察日前日の案内や検査前日の注意事項などを通知する機能があります。

## 待ち時間は好きな場所でリラックス

診察の順番が近づくとスマートフォンに「通知」が届きます。患者さんは診察室の前で待つことなく、診察までの時間を自由に使えます。院内カフェなど好きな場所でもリラックスして待つことができ、密の回避にもつながります。

## 登録をお待ちしています

多くの患者さんに登録・利用いただくことで、課題となっていた混雑や待ち時間の問題の解消につながります。これからも、より一層患者さんに満足していただける病院となるよう努めていきますので、「コンシェルジュ」をよろしく願いいたします。

私からもお願いいたします。

事務局長 澤木 厚司

「コンシェルジュ」は、当院に通院される患者さんの満足度を上げるためのツールとして期待しています。

ご利用いただくには、アプリをスマホにインストールした後で、2階エレベーター横に設置の専用案内窓口での登録が必要となります。登録方法などにつきましては、職員が丁寧にご説明いたしますので、お気軽にお立ち寄りください。



〈アプリのインストールはこちらから〉



# コロナ疲れへの対処法 ～脳を休めるためのマインドフルネス～

精神科 臨床心理士/公認心理師 内堀知里

## 「コロナ疲れ」は正常な心の反応

内閣府が2021年4～5月に実施した新型コロナウイルスに関する調査によると、「コロナ疲れ」を感じると回答した人が全体の7割超という調査結果が出ています。外出自粛の継続、対人交流やイベントの制限、マスク・消毒・検温の徹底、飲食の不便さ等々、私たちは日々様々な制約を受け、新しい生活様式への転換を求められる状況が1年を超えています。そして今、  
 “なんとなく元気が出ない” “疲れが取れない”と感じるのは、多くの人に共通する正常な心の反応です。

## 脳の疲れとは

私たちが疲れを感じる時、それは体だけでなく脳が疲れた状態とも言えます。コロナ疲れも同様に、知らず知らずのうちに正体不明の脳の疲れが蓄積している状態と考えられます。脳が疲れていると、上手に休むことが難しくなり、睡眠の質が低下したり、いつまでも疲れが取りづらい状態となっていくみます。

多くの人が日常生活では仕事や家事、育

児、介護等に追われるなか、新型コロナウイルスに関わる情報はテレビやインターネットから常に流れています。情報過多で脳が疲れた状態の時には、一時的にインプットを減らす工夫が大切になります。

## 「マインドフルネス」とは

自分の“いま、ここ”の体験に気づきを向け、それらを判断したり評価したりすることなく、そのまま眺めたり受け止めたりすることを、「マインドフルネス」と言います。ポイントは、

- ① 行動に対して、身体感覚や五感（見る・聞く・触る・匂い・味わう）に意識を向ける。
- ② 途中で意識がそれたときには「それたな」と気づいて評価せず、再び行動に意識を向ける。
- ③ 通勤や待ち時間、休憩時間に習慣的に取り入れることです。

情報が多く慌ただしい日常生活の中で、スマホなどを見ず、ほんの5分でも脳を休める時間を取り入れてみましょう。今回は、呼吸・食事・運動についてのマインドフル

ネスの例をご紹介します。

・**呼吸**：静かな場所で目を閉じて、呼吸そのものに意識を向け、ゆっくりと深く呼吸してみよう。

・**食事**：お弁当の一つの食材や一杯の飲み物だけでも、五感を意識して丁寧に味わってみよう。食事の準備であれば、野菜の皮を剥くという一工程でも良いので意識して過ごしてみよう。

・**運動**：考え事をせず、歩くことそのものに意識を向けてみましょう。あえてゆっくりと、歩行感覚やペースに意識を向けながら歩いてみましょう。

## メンタルヘルス不調が続く時は

脳の疲れは、放置しているとメンタルヘルス不調（コロナうつや自律神経失調症など）につながる可能性があります。一人ひとりが異常事態に晒されているという認識を持ちながら、これまで以上に積極的にセルフケアに心がけていくことが必要です。しかし、それでもおかしいと感じる症状が続く場合は、専門機関へ相談されることをお勧めします。

**はじめに**

今回は手術室における臨床工学技士の業務について紹介させていただきます。

当院の手術室は12部屋あり、年間約600件の手術が行われています。

毎朝、手術が始まる前に、手術室内の主要な医療機器が安全に使用できるように点検を行っています。手術中の医療機器トラブル予防には重要な業務の1つです。

**内視鏡手術**

近年内視鏡手術が増加する中で、いつで



ロボット支援下手術の様子

も内視鏡システムが安全に使用できるように使用後に点検を行っています。

**ロボット支援下手術**

ロボット支援下手術は、年間100件以上行われています。その中で、使用前の機器準備や患者へのロボット接続補助などを行っています。他にもロボット支援下手術で使用されるロボットの指先（インストゥルメント）の管理を行い、適宜交換して安全に手術できるようにしています。

**心臓血管手術**

また心臓血管外科領域では、人工心肺装置の操作を行うことで、円滑に心臓の手術が行えるように業務しています。人工心肺装置とは、心臓の手術する時に心臓を一時的に止めて手術を行うため、その間の心臓と肺の機能を代行する医療機器です。

現在当院では6名の体外循環技術認定士が在籍しています。

**ハイブリッド手術**

ハイブリッド手術室が導入されました。ハイブリッド手術室とは手術台と心・血管X線撮影装置が組み合わされた手術室のことでTAVI（経カテーテル大動脈弁植込術）という新たな治療が対応可能となりました。

TAVIでは身体の中に留置する大動脈弁を特殊な道具を使用して心臓まで運ぶカテーテルと一体化させる作業を行っています。また、大動脈弁を留置する際に執刀医が正確な位置に大動脈弁留置できるように体外式ペースメーカーを操作してRapidPacing（高頻度ペーシング）を行い心臓の動きを制御しています。

**最後に**

手術室の中で、医療機器を介して安全な手術が行えるように業務にあたっています。

今後も多様化していく手術室環境の中でチーム医療の一員として活躍していきたいと思っています。

(株)トーカイ (洗濯委託事業者)

寝具等借上及び洗濯業務の目的は、病院様に安心と安全の商品お届けし、患者さんの療養環境及び病院職員さんの労働環境の向上に努めています。

主な業務内容は4項目あります。

① 寝具・カーテン等の賃貸借

一般用寝具等の回収及び納品していただきます。

カーテンは随時回収し、クリーニング後管理棟1階リネン庫にて保管します。

② 院内洗濯業務

各病棟より使用済みの洗濯物を回収し、院内に設置されている洗濯乾燥機にて、仕上げていきます。(設備概要…大型洗濯機27kg 2台、小型洗濯機8kg 2台、大型乾燥機30kg 2台、小型乾燥機8kg 2台)

1日平均稼働回数は大型洗濯機12回、小型洗濯機は4回洗濯をしています。

洗濯物の種類と素材によって洗濯機のプログラムを随時変更し対応しています。

③ 院外洗濯業務

院内洗濯同様に各病棟様より使用済の青



洗濯室



リネン庫

BOXシート・患者さん用のオペ着・タオル類各種・病院職員さんが着る肌着等を各病棟より回収して院外の工場にて洗濯、乾燥します。

後日院外工場から納品された商品は仕分け後、各部署へ納品します。

④ 洗濯物搬送業務

院内洗濯で回収した商品は当日に乾燥して各部署に納品します。

(自然乾燥等、乾きにくいものに関しては、当日ではなく乾いてからの納品となります。)

弊社は常に「感謝」の気持ちを込めて「お客様第一」に徹していきます。そして「衛生管理のプロ」として「安心と安全」を患者さん・病院職員さん・病院に関係している方々にお届けしたいと思っています。表に出るお仕事ではありませんが、縁の下の方力持ちとして皆様を支え、やりがいと責任のある仕事であり、誇りを持って毎日業務を行っています。



当院では、意見箱を設置し、来院者の方からのご意見、ご要望に対してできる限りお応えできるよう努めています。そこで、お寄せいただいたご意見、ご要望の一部を紹介させていただきます。

## 《いただいたご意見》

バスの待つところに時計があると助かります。バスの椅子の所に風よけを3月まででも簡単なものでいいのでおいてほしいです。



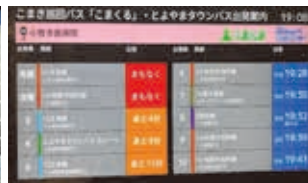
## 《ご意見に対するお答え》

管財課

この度は、貴重なご意見をいただきまして、ありがとうございます。

当院のロータリーは、大規模災害時に医療活動の場となるため、破損の恐れがある構造物を極力設置していません。ご不便をおかけしますが、ご理解をお願いいたします。

なお、診療棟1階の待合ロビーには、名鉄バスやこまき巡回バス（こまくる）、とよやまタウンバスの運行状況や現在の時刻が確認出来る掲示板がございますので、ぜひご利用下さい。



## 小牧市民病院の基本方針



### ◎ 医療の質の向上

職員は自らの専門性を高めるとともに、職種間のコミュニケーションを良好にし、患者さんを中心としたチーム医療を推進することで、安全で質の高い医療を追求します。

### ◎ 患者本位の医療の実践

「怒」の心で患者さんの視点に立った思いやりのある医療を行います。

### ◎ 医療人の育成

将来にわたり地域医療に貢献できる優れた医療人を育成するとともに、働きやすい職場環境づくりに努めます。

### ◎ 地域社会への貢献

地域完結型医療の充実に向けて、地域の医療機関との役割分担・連携をさらに密にしつつ、地域の医療水準の向上につなげることににより、地域社会のニーズに応えられる医療体制を確立します。

### ◎ 経営の健全化

医療情勢の変化に対応するとともに、自院の強みである高次医療を積極的に展開することにより、安定した経営基盤の確立を目指します。

## 臨床研修理念

・「怒の心」を持って、謙虚、感謝の念を忘れずに、プライマリ・ケアの診療が出来る医療人を育成します。

## 臨床研修の基本方針

- (1)医療の本質の「仁」と「尽」を理解し、人格のかん養に努め、患者・家族中心の医療を実践します。
- (2)チーム医療の重要性を理解し、他者からの意見を真摯に受け入れた医療を実践します。
- (3)常に最先端の医学的知識の習得を心掛け、最善の医療の提供に努めます。
- (4)地域医療に参画し、全人的医療を実践します。

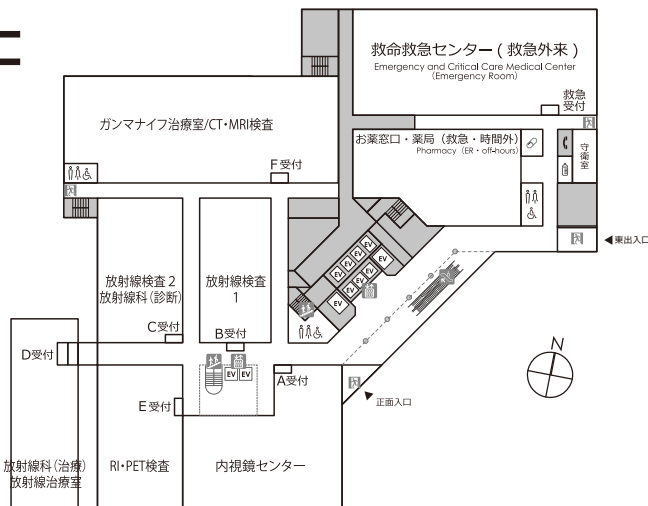
## 市民病院案内図



- 有料駐車場料金**
- 8時間までは100円
- 8時間を超えると1,000円加算
- 以降8時間を超えるごとに1,000円加算

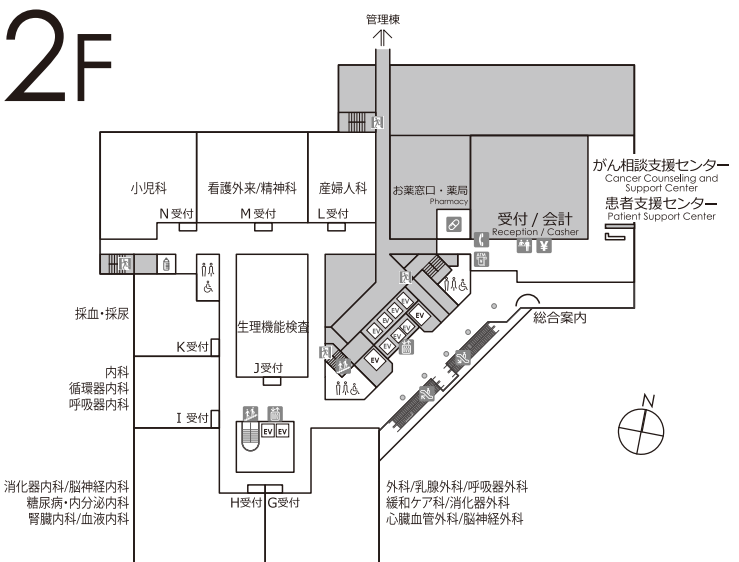
## 外来案内

1F



- 〈診療受付時間〉**  
午前8時30分～午前11時30分
- 〈診療時間〉**  
午前9時～午後5時
- 〈休診日〉**  
土曜・日曜・祝日・年末年始  
※急患の方は、救命救急センターで随時診療

2F



3F

